

昭和30年、  
九州の発展を使命として  
生まれた工場。

「九州の発展のために引き受けし  
ましょう」——九州のみなさまと私たちの  
挑戦は、創業者松下幸之助の一言から  
はじまりました。

昭和29年。当時の九州地方は、主要産業で  
ある石炭産業が斜陽化しており、地域  
経済の再建のために新たな産業の誘致が  
求められていました。そんな中、地元  
の県と市の方々が、私たちの大阪本社を  
訪ねてこられて言いました。「いまは使  
われていない工場を使用して、地域開発  
のために協力してもらえないだろうか」。  
当時の日本は復興期にあつて、使われ  
ないままに置かれた土地が、たくさんあつた  
のです。力になりたい。そう思う一方で、  
当時の九州は、家電工場が必要とする  
関連工場がまったくと言っていいほど  
育っていませんでした。そのため、残念な  
がら最初はお断りをいたしました。しかし  
翌30年、再び本社にお越しになった県と  
市の方々から「地元の発展のために」と  
再度依頼を受けた時に、松下幸之助は  
言いました。「地元のみなさんがそれほど  
熱心におっしゃるならばわれわれもみな  
さんの熱意にお応えしないわけにはいき  
ません」。そこに続いたのが冒頭の言葉  
でした。長い道なのであることを承知し  
ながら、それでも決断したのは「産業を通  
じて地域に貢献する」という経営理念を  
実践するためでした。その決意は、やがて  
『九州各県にひとつずつ工場をつくる』  
計画へと発展。それぞれの地元の方と力  
を合わせながら九州と日本の発展のため  
に尽くしました。

大正7年の創業以来、私たちがここまで  
歩んでこられたことは、みなさまのご愛顧  
とご信頼の賜物と心より感謝申し上げます。  
これからも変わらぬご支援を賜り  
ますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

おかげさまで、  
パナソニックは  
創業100周年を  
迎えました。



旧・九州松下電器(株)の青沼博二社長(当時)の案内で、福岡工場を視察する松下幸之助・むめの夫人(昭和49年撮影)

100

# Panasonic

松下幸之助の思いを、次の100年へ。

## パナソニック ミュージアム

本日開館

〒571-8501 大阪府門真市大字門真 1006 番地  
開館時間/9:00~17:00 ※開館時間は変更になる場合があります。  
休館日/日曜日、年末年始 入場料/無料

